

サンプル Excel ファイル

Automatic Measurement Systems

URL: <http://www.geocities.jp/automeasuresystem/>

➤ 目次

➤ 基礎編.....	1
● Simple Measure へようこそ	1
● VISA デバイスを使用する	1
● 環境変数の設定	1
➤ スクリプトの基礎編.....	2
● 無限ループ.....	2
● 指定回数繰り返し.....	2
● スクリプトで VISA デバイスに書き込む	2
● スクリプトで測定結果を返す.....	2
➤ 応用編.....	3
● 統計処理	3
● Access データベースを使用する.....	3
● SQL Server を使用する	3
● NI DAQmx を使用する.....	3
● User DLL	4
➤ その他.....	5
● サンプルムービー(Youtube)に使用した Excel ファイル.....	5

➤ 基礎編

- Simple Measure へようこそ

「Simple Measure へようこそ」をダイアログに表示。

ファイル

Hello.xlsm

- VISA デバイスを使用する

VISA デバイスを接続する必要あり。

VISA デバイスに書込みと読込を行う。

ファイル

VISA.xlsm

- 環境変数の設定

使用できるすべての環境変数の設定。

ファイル

All Config.xlsm

➤ スクリプトの基礎編

- 無限ループ

スクリプトでジャンプを行い、無限ループする。

ファイル

Script Jump.xlsm

- 指定回数繰り返し

スクリプトで指定回数繰り返す。

ファイル

Script Loop.xlsm

- スクリプトで VISA デバイスに書き込む

VISA デバイスを接続する必要あり。

ファイル

Script.xlsm

- スクリプトで測定結果を返す

VISA デバイスを接続する必要あり。

VISA デバイスからデータを読み取り、Data シートに値を返す。

ファイル

Script2.xlsm

➤ 応用編

● 統計処理

VISA デバイスを接続する必要あり。

統計処理を行う。

ファイル

Statistics.xlsm

● Access データベースを使用する

SimpleMeasure.accdb にデータの書き込みを行う。

ファイル

Access¥Access JET.xlsm

Access¥SimpleMeasure.accdb

● SQL Server を使用する

SQL Server に接続して SimpleMeasure データベースの Demo_Data テーブルにデータを
書き込む。

Demo_Data テーブルの作成は Demo_Data_MakeTable.sql を実行。

ファイル

SQL Server¥SQL Server.xlsm

SQL Server¥Demo_Data_MakeTable.sql

● NI DAQmx を使用する

NI USB-6501 を接続する必要あり。

NI USB-6501 にデータを書き込む。

ファイル

DAQmx.xlsm

- User DLL

.NET で作成した DLL を使用する。

ファイル

User DLL¥DLL¥* (Visual Studio Project, Source File, DLL)

User DLL¥DLL¥UserDllTest¥bin¥Debug¥ UserDllTest.dll

User DLL¥UserDll.xlsm

➤ その他

- サンプルムービー(Youtube)に使用した Excel ファイル

ファイル

基本動作¥基本動作.xlsm

基本動作¥ Test.pdf

Movi Sample¥ SimpleMeasureLib DAQmxTest.xlsm

Movi Sample¥ SimpleMeasureLib TestRepDb.xlsm

Movi Sample¥ SimpleMeasureLib スピーカー測定.xlsm

Movi Sample¥ SimpleMeasureLib スピーカーインピーダンス測定 補正後.xlsm